

令和7年度
内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞
総務省推薦

株式会社プラスヴォイス

(宮城県仙台市)

【受賞理由】

- 病院・救急・警察等をはじめとした「対面コミュニケーションの仲介」に対応できる遠隔手話通訳に取り組み、これを行う通訳専用システム(PVRTC)を自社開発、改良を続け、バリアフリー社会の基盤を長期にわたり実装してきた事業者であり、継続性と体制の成熟度の高さを評価。
- 日常場面から災害時まで、切れ目なくサービスを提供し続けた実績に加え、研修体制、改善プロセス、安定運用等、長期的に事業を維持するための仕組みが企業内で確立しており、継続性の高さを評価。

Point 1

場所や数に制限なく
自治体の判断で
設置できます

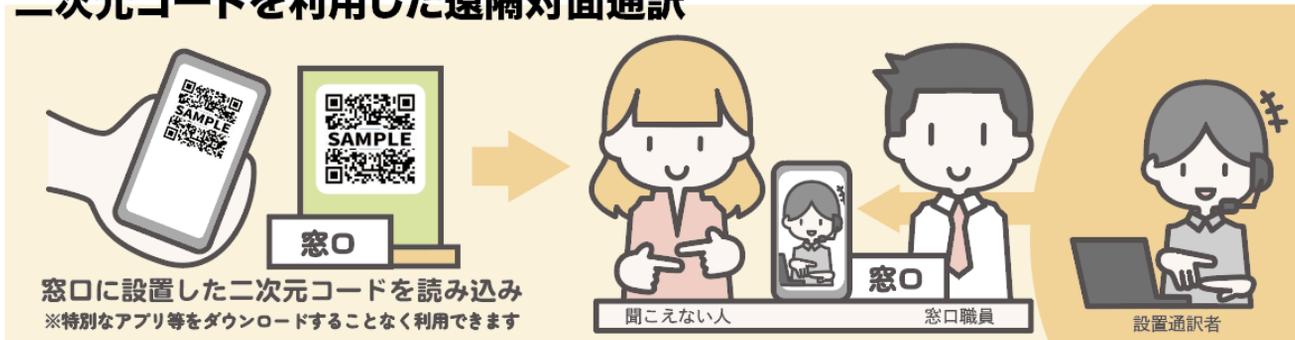
Point 2

利用者の端末も利用可能。
端末の維持管理が
発生しません

Point 3

二次元コードで
いつでもどこでも
通訳を提供できます

二次元コードを利用した遠隔対面通訳



窓口に来られない時は遠隔電話通訳も可能



関連施設に二次元コードを発行



二次元コードを活用し、平時・災害時を通じて利用可能な遠隔通訳の仕組み

【 団体概要 】

➤ 2003年から、全国で初めてとなる遠隔手話通訳サポートサービスを開始し、以降20年以上にわたって、ろう者の生活における役所・病院・救急・警察をはじめとした「対面コミュニケーションの仲介」を特徴とする遠隔手話通訳サービスの提供を行う。通訳専用システム「PVRTC」を独自で開発し、遠隔通訳の仕組みを構築している。

【 功績・功労 】

- 災害時でも途切れない支援を行うため、通訳センターを仙台・東京・大阪に分散配置し、いずれかが被災しても全国の通訳者が即時に支援できる体制を整備しており、これまでの震災や気象災害時には、無償で支援を提供した実績がある。
- 行政手続き、医療機関での受診、災害時の情報保障など、社会参加の中心を成す場面で日常的に活用されており、バリアフリー社会の形成に向けて直接的に機能する取組となっている。自治体での導入実績もあり、地域社会の基盤整備に寄与している。



通訳者不足を補完し、命に関わる現場でも機能する遠隔手話通訳